ハーフクローラトラクタ取扱説明書
GVK650,750,760,850,950

このたびは三菱農機製品をお買いあげいただきましてありがとうございました。この取扱説明書は，**ハーフクローラ仕様機**について，タイヤ仕様と特に異なる取扱い方法についてのみ説明してあります。その他の説明については，本編の**［取扱説明書］**をご覧ください。

サービスと保証について

農機型式名	型式検査（国検）合格番号
クボタ IC75PC（安全キャブ）	206022
クボタ IC95MZ（安全キャブ）	207018

型式名	農機型式名	安全鑑定適合番号
GVK650	クボタ MZ65-HPC	31109
GVK750	クボタ MZ75-HPC	31108
GVK760	クボタ SMZ76-HPC	32066
GVK850	クボタ SMZ85-HPC	32065
GVK950	クボタ SMZ95-HPC	32064

小型特殊自動車としての取扱い

重　要

＊ このトラクタは道路運送車両法上の小型特殊自動車に該当するように製作されていますが，**道路交通法**では，大型特殊自動車に該当します。
従って，公道を走行する場合は，
大型特殊自動車の運転免許証が必要です。
必ず所持してください。

⚠ 安全に作業するために

本ハーフクローラトラクタは，タイヤ仕様と違いますので，必ずこの**［取扱説明書］**をよく読み理解した上で安全作業をしてください。

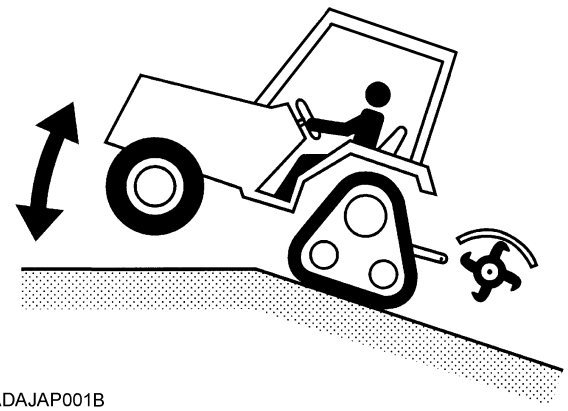
■ 運転時に

⚠ 警　告

＊ 凹凸やカーブの多い所では絶対に高速走行をしないでください。ハンドル操作ができなくなるおそれがあります。
＊ 道路を走行するときは，左右のブレーキペダルを必ず連結してください。
連結しないと，ブレーキが片ぎきになり，車体が急旋回して，転倒・転落・衝突などの事故を引起こすおそれがあります。

⚠ 注　意

＊ クローラ部が凸部を乗越えるときは，急に姿勢が変わりますので十分注意してください。



1AGADAJAP001B

1. 走行速度は，タイヤ仕様とは異なります。巻末の**［走行速度表］**を確認してください。
2. ほ場での旋回は速度を下げ，ハンドルとブレーキ（片ブレーキ）を併用してください。詳しくは本編の**【取扱説明書】**をご覧ください。
   片側クローラをロックしての急旋回は，ほ場を荒らしますので切返しでの旋回をお奨めします。

重　要

＊ 機械保護のため，急発進，急停止や急旋回など，無理な操作はしないでください。

補　足

＊ 長距離の移動の際には，前輪タイヤ及びゴムクローラの早期摩擦防止のためにトラックやトレーラに積んで輸送することをお奨めします。
＊ 上記以外の取扱い操作は，タイヤ仕様のトラクタと同じです。本編の**【取扱説明書】**をご覧の上，安全に操作してください。

■ あゆみ板使用時に

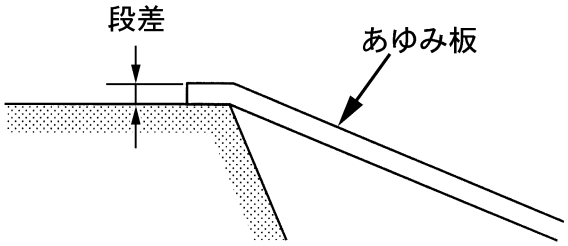
注　意

＊ あゆみ板は左右の先端をそろえ，前後にずれないように確実に固定してください。
＊ あゆみ板とあゆみ板をかけた面との段差が大きい場合，運転には特に注意してください。
＊ 途中で変速すると危険ですので，あらかじめ安全な遅い変速位置に入れて低速で運転してください。
＊ あゆみ板は，十分な強度・幅・長さ（傾斜が 15 度以下になる長さ：トラックの荷台高さ，あるいはほ場乗入れ部高さの 4 倍以上）のあるすべり止め及び爪付きのものを使用し，ハーフクローラの重量であゆみ板が傾いたりしない場所を選んでください。

■ ほ場への出入り

注　意

＊ クローラの片側だけが段差に引っかかり乗りあがらない状態になった場合，いったん車両を元に戻し，あゆみ板をかけ直してはじめからやり直してください。



1AGACBUAP002A

■ 作業時の注意

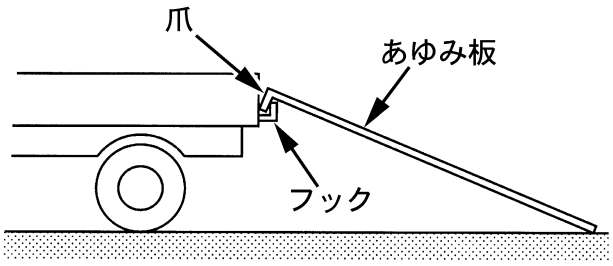
注　意

＊ クローラの構造上，左右に大きな段差のある状態で作業を行なうと，クローラが外れる場合があります。プラウ作業などで片側のクローラを溝に落としての作業は行なわないでください。

■ トラックへの積み・降ろし

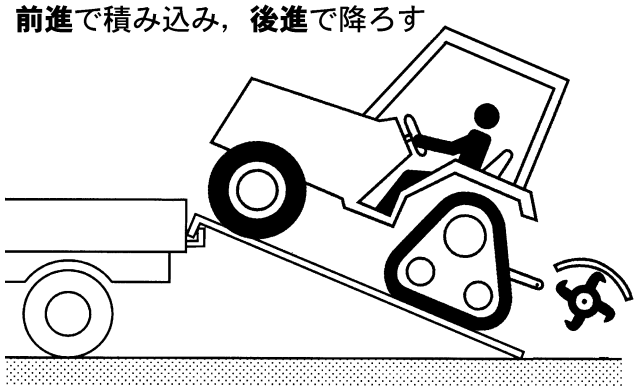
注　意

＊ トラックは荷台後部にあゆみ板の爪を掛けるフックが付いたものを使用してください。
＊ トラックへの積み・降ろしは，必ず左右のブレーキペダルを［連結］し，［前進］で積み込み，［後進］で降ろしてください。前進で降りると，クローラがあゆみ板の段差ですべり，前輪が浮いて車体が旋回し，転倒事故につながるおそれがあります。



1AGACBUAP003A

前進で積み込み，**後進**で降ろす



1AGACBUAP004B

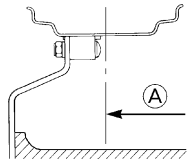
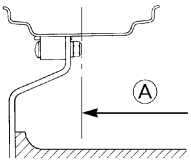
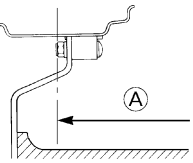
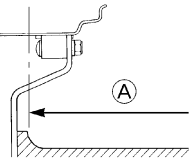
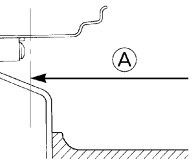
前輪タイヤ

◆ 標準空気圧

〔 〕内はローダ装着時

前　　輪 kPa(kgf/cm²)	
9.5-24	220(2.2) 〔240(2.4)〕
320/60-26	80(0.8) 〔ローダ不可〕

■前輪輪距

型　　式	GVK650・750	GVK760・850・950	GVK650・750	GVK760・850・950
タイヤサイズ / 輪距Ⓐ（単位：mm）	9.5-24 -標準 -N -NN		320/60-26 -W	
① 	1200	1330 [-NN 出荷時]	—	—
② 	1300 [-NN 出荷時]	1430 [-標準 -N 出荷時]	1360 [出荷時]	1530 [出荷時]
③ 	1290	1420	—	—
④ 	1390 [-標準 -N 出荷時]	1520	—	—
⑤ 	1500	—	—	—

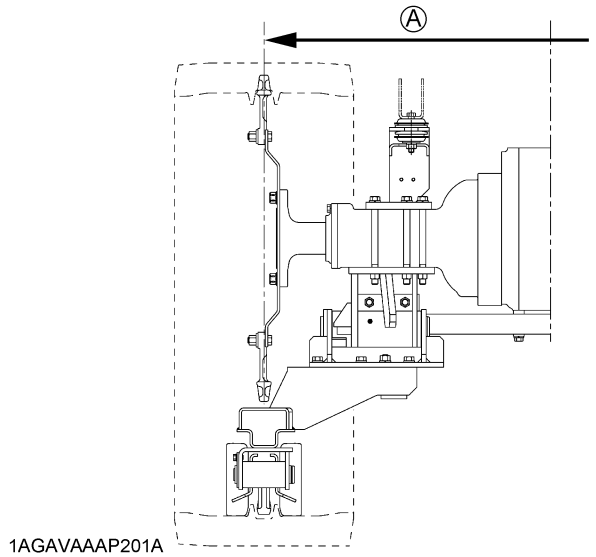
補　足

＊ 輪距の図は左前輪タイヤを示します。

後輪クローラ

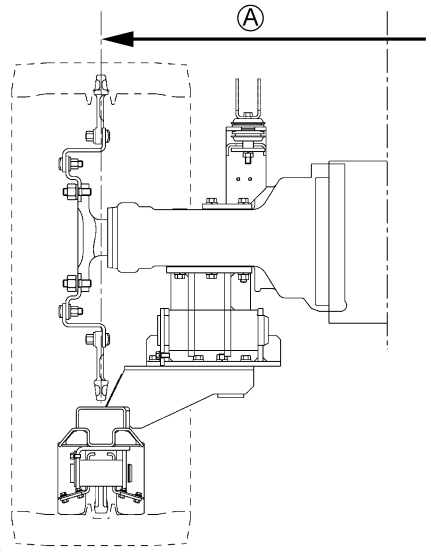
■クローラ輪距

型　式		輪 距Ⓐ（単位：mm）
GVK650・750	-標準	1440
	-N	
	-W	



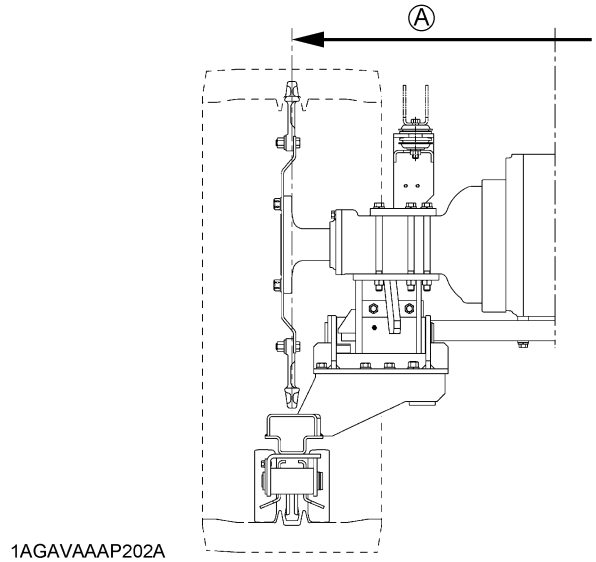
1AGAVAAAP201A

型　式		輪 距Ⓐ（単位：mm）
GVK760・850・950	-標準	1440
	-N	
	-W	



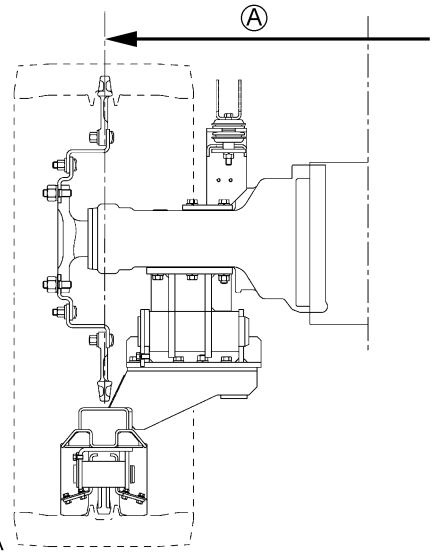
1AGAVABAP002A

型　式		輪 距Ⓐ（単位：mm）
GVK650・750	-NN	1320



1AGAVAAAP202A

型　式		輪 距Ⓐ（単位：mm）
GVK760・850・950	-NN	1320



1AGAVABAP003A

補　足

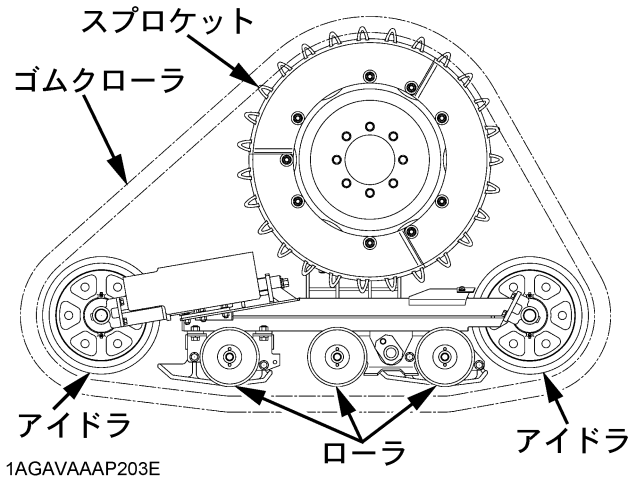
＊ 輪距の変更については購入先にご相談ください。

日常点検

メンテナンスを行なうことで，ハーフクローラ機の寿命アップと当用機のトラブルを未然に防ぐことができます。下表に従ってメンテナンスを実施してください。本機については，本編の**［取扱説明書］**をご覧ください。
交換要領の詳細についてや，不具合があれば，購入先にご連絡ください。
また，ハーフクローラ機を安心してご使用いただくため，１年に１度の入庫定期点検をおすすめします。

■日常点検個所一覧

点検箇所	点検内容
ローラ アイドラ スプロケット	● 草の巻付き，石のかみこみ，泥の付着はありませんか。 ● 極端な摩耗，偏摩耗はしていませんか。
ローラ アイドラ	● オイルもれはありませんか。オイルもれがある場合は，購入先にて点検を受けてください。
ゴムクローラ	● クローラに大きな損傷はありませんか。 ● クローラの張りは適正ですか。
各部の ボルト・ナット	● 緩みはありませんか。
揺動部 ヨーク摺動部	● グリースアップを適宜行なってください。使用条件により異なりますが，目安は50時間ごとです。



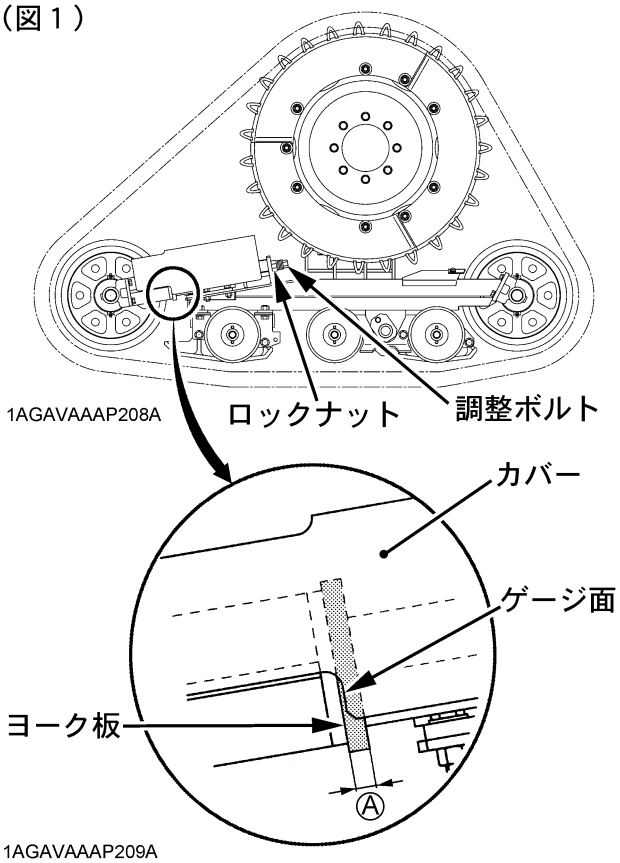
1AGAVAAAP203E

保守管理

■ゴムクローラの張り調整

1. ゴムクローラが緩んだままで使用すると，走行中に異音が発生したり，脱輪の原因となるおそれがありますので，定期的に点検を行なってください。
2. ゴムクローラの張り調整は，トラクタを前進で停止させ，調整ボルトにて行なってください。調整後は確実にロックナットで固定してください。
3. ゴムクローラの適正な張りを保つため，カバーのゲージ面がヨーク板の範囲内（A）にあることを，確認してください。（図１参照）

（図１）

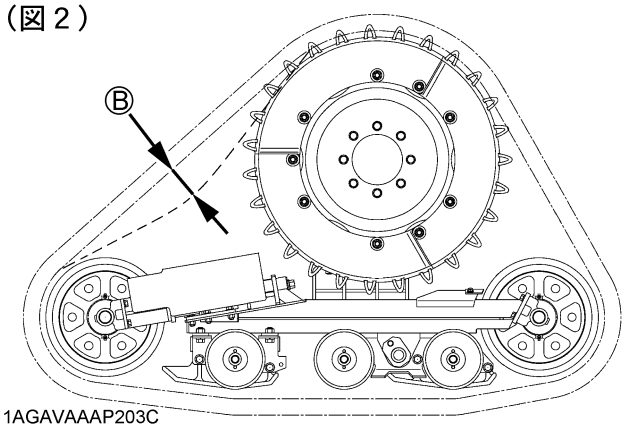


1AGAVAAAP208A
1AGAVAAAP209A

[参考]

(B) 部のたわみが 196 ～ 294N(20 ～ 25kgf) の荷重で 10 ～ 15mm になります。(図２参照)

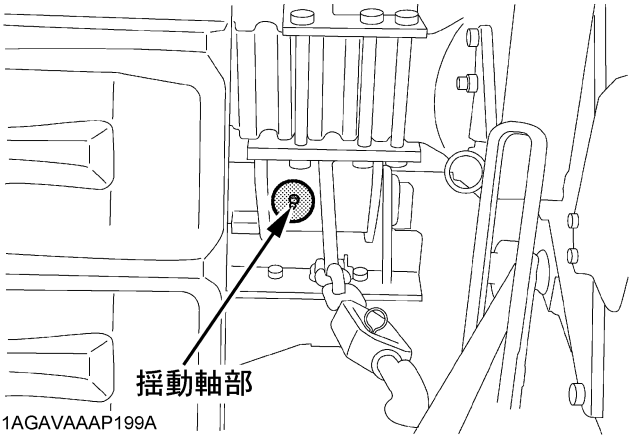
(図２)



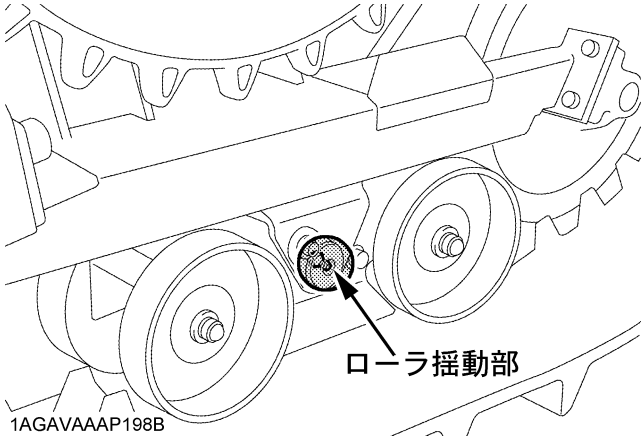
1AGAVAAAP203C

■グリースアップ

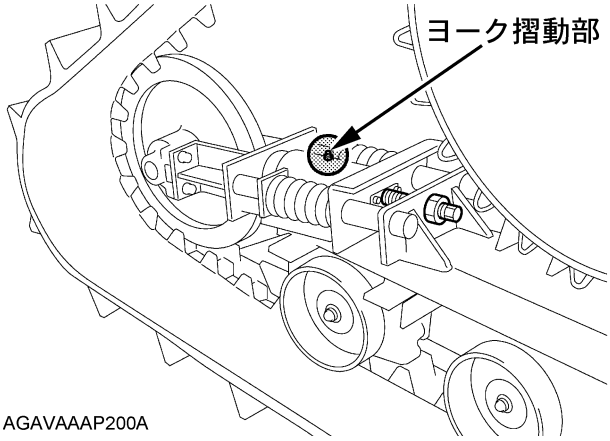
50 時間使用ごと及び,1 シーズン終了後に次の箇所にグリースアップを実施してください。



1AGAVAAAP199A



1AGAVAAAP198B

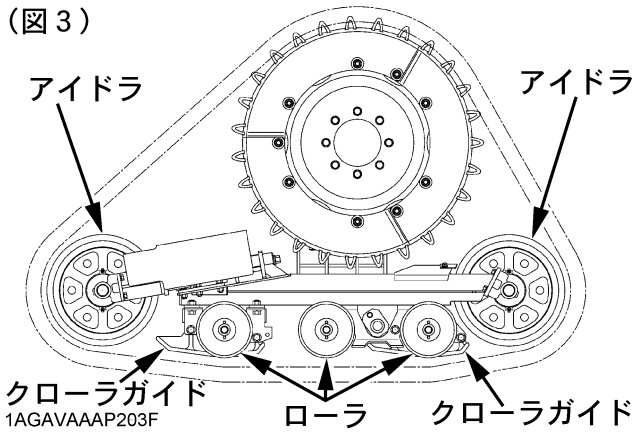


1AGAVAAAP200A

■クローラのローラ・アイドラのオイル交換とオイルシール点検

クローラのローラ・アイドラのオイルは，200 時間ごとに交換してください。又，点検の上，オイルもれなどの異常があればオイルシールを交換してください。

（図３）



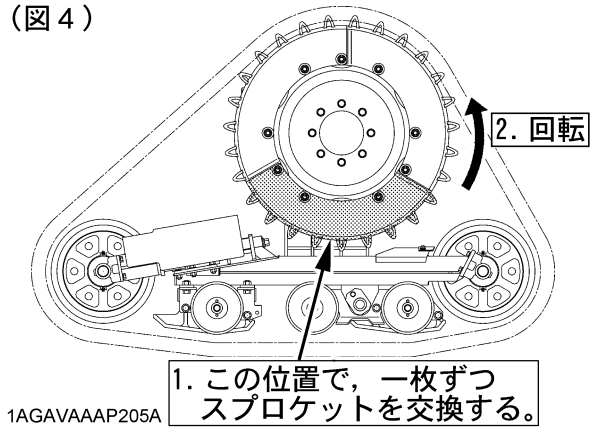
■クローラガイドの点検

クローラガイドに著しい摩耗があれば交換してください。摩耗したままで使用すると脱輪の原因となるおそれがあります。

■スプロケットの交換

スプロケットは 3 枚で構成されています。

（図４）

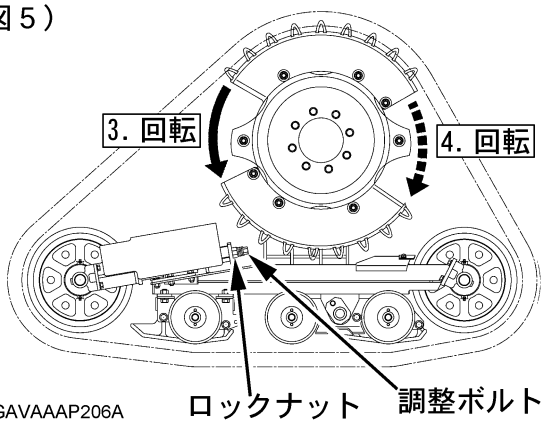


1. まず■部で示した下側のスプロケットを新しいスプロケットに交換します。
2. 次に車軸をゆっくり回転させ，順次下側に来たスプロケットを新しいものに交換して行きます。（図 4 参照）
3. ３枚のスプロケットを交換した後，ゴムクローラの張り調整を行なってください。

■ゴムクローラの交換

1. ロックナットを緩め，調整ボルトを回転させ，クローラの張りを緩めます。
2. 図4の■部で示した下側のスプロケットから順次 2 枚のスプロケットを外します。
3. 一枚のスプロケットを残したまま図 5 に示す位置まで車軸をゆっくり回転させ，古いゴムクローラを外します。

（図５）



4. 新しいゴムクローラに置き換えた後，車軸を回転させ，スプロケットにゴムクローラを掛けます。
5. 外した 2 枚のスプロケットを取付けた後，最後にゴムクローラの張り調整を行なってください。（調整方法は**［ゴムクローラの張り調整］**の項を参照）

補　足

＊ オイル，オイルシール，クローラガイド，スプロケット及びゴムクローラ交換要領の詳細については，購入先にご相談ください。

給油（水）一覧表

<table>
<tr><th rowspan="2">No.</th><th rowspan="2">給油（水）項目</th><th colspan="5">容　　量（L）</th><th rowspan="2">備　　考</th></tr>
<tr><th>GVK
650</th><th>GVK
750</th><th>GVK
760</th><th>GVK
850</th><th>GVK
950</th></tr>
<tr><td>1</td><td>燃料</td><td colspan="5">90</td><td>ディーゼル軽油</td></tr>
<tr><td>2</td><td>冷却水
（リザーブタンク）</td><td colspan="5">9.0
（1.3）</td><td>リザーブタンク
清水 1.3</td><td>（不凍液を入れた場合は，その量だけ少なく清水を入れてください。）</td></tr>
<tr><td>3</td><td>ウオッシャ液</td><td colspan="5">1.3</td><td colspan="2">自動車用ウォッシャ液</td></tr>
<tr><td rowspan="2">4</td><td rowspan="2">エンジンオイル
（フィルタ含む）</td><td>10.5</td><td>—</td><td>10.5</td><td>—</td><td></td><td colspan="2">純正オイル（ディーゼルエンジン用）
D30 又は D10W-30　CC 級又は CD 級以上のみ使用</td></tr>
<tr><td>—</td><td>10.5</td><td>—</td><td>10.5</td><td></td><td colspan="2">純正オイル（ディーゼルエンジン用）
D30 スーパーCD 又は D10W-30 スーパーCD
CC 級使用不可，CD 級以上のみ使用</td></tr>
<tr><td>5</td><td>ミッションオイル
（油圧オイル）</td><td colspan="5">67.0</td><td colspan="2" rowspan="5">純正オイル
スーパー UDT</td></tr>
<tr><td>6</td><td>前車軸ケース</td><td colspan="2">9.0</td><td colspan="3">—</td></tr>
<tr><td>7</td><td>前部デフケース</td><td colspan="2">—</td><td colspan="3">6</td></tr>
<tr><td>8</td><td>前輪ケース左・右</td><td colspan="2">—</td><td colspan="3">各 3.5</td></tr>
<tr><td>9</td><td>各操作レバー・ペダル支点</td><td colspan="5">注　　油</td></tr>
<tr><td rowspan="11">10</td><td>グリースの注入</td><td colspan="5">注　入　箇　所</td><td>容　　量</td><td>使用グリース</td></tr>
<tr><td>●三点リンク</td><td colspan="5">4</td><td rowspan="9">外部にはみ出すまで
注）</td><td rowspan="10">極圧（万能）
グリース</td></tr>
<tr><td>●油圧シリンダ</td><td colspan="5">左右各 2</td></tr>
<tr><td>●前輪ケースサポート</td><td colspan="5">左右各 1</td></tr>
<tr><td>●前車軸受部</td><td colspan="5">2</td></tr>
<tr><td>●ステアリング
ジョイント軸</td><td colspan="5">1</td></tr>
<tr><td>●クローラサポート</td><td colspan="5">左右各 1</td></tr>
<tr><td>●ローラ揺動部</td><td colspan="5">左右各 1</td></tr>
<tr><td>●ヨーク摺動部</td><td colspan="5">左右各 1</td></tr>
<tr><td>●バッテリターミナル</td><td colspan="5">2</td><td>少　　量</td></tr>
</table>

注）グリースポンプは手動のハンドガン式のものを使用してください。

主要諸元

■トラクタの主要諸元

型式名			MZ65-HPC				MZ75-HPC			
機種	販売型式名		GVK650				GVK750			
			－	W	N	NN	－	W	N	NN
	仕様		標準仕様	前輪幅広仕様	N（幅狭クローラ）仕様		標準仕様	前輪幅広仕様	N（幅狭クローラ）仕様	
駆動方式			半装軌式							
機体寸法	全長	mm	3625							
	全幅	mm	1890		1720	1600	1890		1720	1600
	全高	mm	2580							
	軸距	mm	2150							
	最低地上高	mm	470							
機体質量(重量)		kg	3080	3120	3040		3080	3120	3040	
エンジン	機関型式		クボタ V3300				クボタ V3300-T（ターボ）			
	種類		水冷４サイクル４気筒立形ディーゼル							
	総排気量	L	3.318							
	出力／回転速度	kw(PS)/rpm	47.8(65)/2600				55.2(75)/2600			
	使用燃料		ディーゼル軽油							
	燃料タンク容量	L	90							
	始動方式		セルモータ式							
	バッテリ		105E41L							
前輪タイヤ	前輪タイヤ		9.5-24	320/60-26	9.5-24		9.5-24	320/60-26	9.5-24	
	前輪輪距	mm	1390（1200～1500 5段）	1360	1390（1200～1500 5段）	1300（1200～1500 5段）	1390（1200～1500 5段）	1360	1390（1200～1500 5段）	1300（1200～1500 5段）
クローラ	幅×接地長	mm	450 × 1310		280 × 1310		450 × 1310		280 × 1310	
	リンク数×ピッチ	mm	50 × 90							
	輪距	mm	1440			1320	1440			1320
	接地面積	cm^2	11790		7340		11790		7340	
	接地圧	kPa(kg/cm^2)	1.57 (0.16)		2.55 (0.26)		1.57 (0.16)		2.55 (0.26)	
	緩衝方式		揺動式							
車体	クラッチ方式		電子油圧式湿式多板							
	制動方式		一系統左右独立（連結装置付き），湿式ディスクブレーキ（機械式）							
	かじ取方式		全油圧式パワーステアリング							
	差動方式		４ピニオンかさ歯車式（デフロック付）							
	変速方式		パルシフト							
	変速段数		前進 24，後進 24（シャトル）							
	走行速度 前進	km/h	0.14 ～ 25.8							
	走行速度 後進	km/h	0.14 ～ 25.7							
PTO	PTO 回転速度	回転／分	589，828，1170（エンジン 2600）							
	逆転 PTO 回転速度	回転／分	523（エンジン 2600）							
	軸寸法	mm	JIS 35							
作業機昇降装置	制御方式		ポジションコントロール，ドラフトコントロール							
	装着方式		三点リンク　JIS １形，２形							

※この主要諸元，製品形態は改良のため予告なく変更することがあります。

型式名			SMZ76-HPC				SMZ85-HPC				SMZ95-HPC			
機種	販売型式名		GVK760				GVK850				GVK950			
			－	W	N	NN	－	W	N	NN	－	W	N	NN
	仕様		標準仕様	前輪幅広仕様	N（幅狭クローラ）仕様		標準仕様	前輪幅広仕様	N（幅狭クローラ）仕様		標準仕様	前輪幅広仕様	N（幅狭クローラ）仕様	
駆動方式			半装軌式											
機体寸法	全長	mm	3800											
	全幅	mm	1890	1980	1720	1600	1890	1980	1720	1600	1890	1980	1720	1600
	全高	mm	2580											
	軸距	mm	2250											
	最低地上高	mm	470											
機体質量(重量)		kg	3380	3420	3340		3390	3430	3350		3390	3430	3350	
エンジン	機関型式		クボタ V3800				クボタ V3800-T（ターボ）							
	種類		水冷４サイクル４気筒立形ディーゼル											
	総排気量	L	3.769											
	出力／回転速度	kw(PS)/rpm	55.9(76)/2600				62.5(85)/2600				69.9(95)/2600			
	使用燃料		ディーゼル軽油											
	燃料タンク容量	L	90											
	始動方式		セルモータ式											
	バッテリ		105E41L											
前輪タイヤ	前輪タイヤ		9.5-24	320/60-26	9.5-24		9.5-24	320/60-26	9.5-24		9.5-24	320/60-26	9.5-24	
	前輪輪距	mm	1430（1330～1520 4段）	1530	1430（1330～1520 4段）	1330（1330～1520 4段）	1430（1330～1520 4段）	1530	1430（1330～1520 4段）	1330（1330～1520 4段）	1430（1330～1520 4段）	1530	1430（1330～1520 4段）	1330（1330～1520 4段）
クローラ	幅×接地長	mm	450 × 1310		280 × 1310		450 × 1310		280 × 1310		450 × 1310		280 × 1310	
	リンク数×ピッチ	mm	50 × 90											
	輪距	mm	1440		1320		1440		1320		1440		1320	
	接地面積	cm^2	11790		7340		11790		7340		11790		7340	
	接地圧	kPa(kg/cm^2)	1.76 (0.18)		2.84 (0.29)		1.76 (0.18)		2.84 (0.29)		1.76 (0.18)		2.84 (0.29)	
	緩衝方式		揺動式											
車体	クラッチ方式		電子油圧式湿式多板											
	制動方式		一系統左右独立（連結装置付き），湿式ディスクブレーキ（機械式）											
	かじ取方式		全油圧式パワーステアリング											
	差動方式		４ピニオンかさ歯車式（デフロック付）											
	変速方式		パルシフト											
	変速段数		前進 24，後進 24（シャトル）											
	走行速度	前進 km/h	0.16 ～ 27.7											
		後進 km/h	0.16 ～ 27.6											
PTO	PTO 回転速度	回転／分	589，828，1170（エンジン 2600）											
	逆転 PTO 回転速度	回転／分	523（エンジン 2600）											
	軸寸法	mm	JIS 35											
作業機昇降装置	制御方式		ポジションコントロール，ドラフトコントロール											
	装着方式		三点リンク　JIS ２形											

※この主要諸元，製品形態は改良のため予告なく変更することがあります。

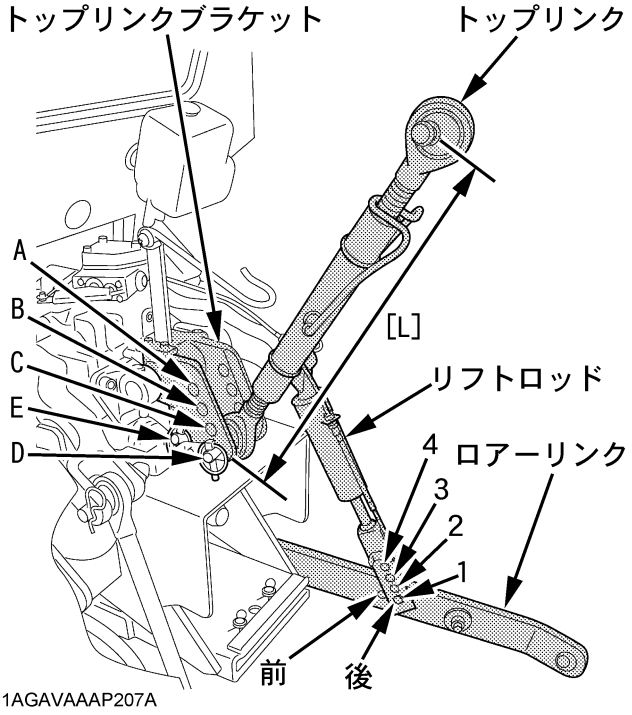
■走行速度表

(km/h)

主変速レバー	副変速レバー	クリープレバー	GVK650・750		GVK760・850・950	
			前進	後進	前進	後進
1	L (低)	入	0.14	0.14	0.16	0.16
2			0.19	0.19	0.21	0.21
3			0.25	0.24	0.26	0.26
4			0.31	0.31	0.33	0.33
5			0.39	0.39	0.43	0.43
6			0.52	0.51	0.57	0.57
7			0.67	0.67	0.71	0.71
8			0.83	0.83	0.89	0.89
1	L (低)	切	0.71	0.71	0.79	0.79
2			0.90	0.90	1.04	1.04
3			1.20	1.20	1.30	1.29
4			1.50	1.50	1.62	1.62
5			1.90	1.90	2.15	2.14
6			2.50	2.50	2.83	2.82
7			3.30	3.30	3.53	3.52
8			4.10	4.10	4.42	4.41
1	H (高)	入 / 切	4.2	4.2	4.7	4.6
2			5.5	5.5	6.1	6.1
3			7.2	7.1	7.6	7.6
4			8.9	8.9	9.6	9.5
5			11.4	11.3	12.6	12.6
6			15.0	15.0	16.6	16.6
7			19.4	19.4	20.7	20.7
8			24.2	24.1	26.0	25.9
無負荷最高回転時			25.8	25.7	27.7	27.6

純正ロータリの取付け方法 [GVK650・750]

■トラクタの 3 点リンクの位置の確認



トラクタ型式	GVK650・750
トップリンク取付穴	D
トップリンク長さ **[L]** 寸法（mm）	570
リフトロッド左・右の取付穴	1
ロアーリンク取付穴	後
ドラフトストッパピン	E

補　足

＊ トップリンク長さ **[L]** 寸法は装着時の目安とし，異音（ガラガラ音）が出る場合は±５㎜の範囲で調整してください。

注　意

＊ トップリンク取付位置，トップリンク長さ，リフトロッド取付穴位置，ロアーリンク取付穴位置を間違うと，ジョイント抜けやトップリンクの破損等による傷害事故のおそれがあります。

適応ロータリ・バンパー一覧表 [GVK650・750]

純正ロータリを装着する際は，ウエイト 25kg（記載枚数分），取付けボルトをオプションで購入してください。又，ウエイト取付け台を装備していない場合は，板金製又は鋳物製の取付け台をオプションで購入してください。

ロータリ型式	製品コード	適応型式		ウエイト	
		GVK650	GVK750	取付け台	ウエイト25kg 枚数
RD200-C	K7G92002046	○		板金製	3
				鋳物製	1
RD220-C	K7G92202046	○	○	板金製	4
				鋳物製	2
RD240-C	K7G92402046	○	○	板金製	5
				鋳物製	3

■ウエイト一覧表

分類	品　番	品　名	用途　・　仕様
ウエイト	K3A25917000	前部ウエイト取付け台アッシ（板金製）	取付けボルト含む
	K3R60017000	前部ウエイト取付け台アッシ（鋳物製）	取付けボルト含む
	K9965112000	前部ウエイトアッシ（取付け台含まず）	ウエイト 25kg ×４枚 ボルト４枚用含む
	K9965112110	前部ウエイト単体	25kg
	K9965112120	ボルト（前部ウエイト）	ウエイト６枚用
	K9965112130	ボルト（前部ウエイト）	ウエイト４枚用

農用トラクター（乗用型）用安全キャブ及び安全フレーム検査成績表

平成18年度
農業・食品産業技術
総合研究機構



型式名：クボタ　ＩＣ７５ＰＣ

合格番号：２０６０２２

種　　類：安全キャブ

依頼者名：株式会社クボタ
住　　所：大阪府大阪市浪速区敷津東１丁目２番47号

Ⅰ　装着可能トラクター

１．型式名

クボタ MZ75-HPC　　クボタ MZ65-HPC

２．主要諸元（最大トラクター）

■ 型式名		：	クボタ MZ75-HPC
■ 種類		：	半装軌式
■ 質量（キャブ付き）	kg	：	3165
■ 軸距	mm	：	2150
■ 機関出力/回転速度	kW{PS}/rpm	：	55.2{75}/2600

Ⅱ　構造の概要

１．構造及び装着法

供試キャブは，鋼管及び鋼板を主材とした溶接による一体構造であり，防振ゴム・取付金具を介してクラッチハウジング部及び後車軸ケース部にボルトで装着。

ウインドスクリーン，ドア（両側），側窓，後窓を装備。

２．主な装備

シートベルト（２点式），換気・暖冷房装置，電動ワイパー（前・後）

３．主要寸法　※

■ 座席基準点から屋根部材（内張下面）までの高さ		：	107.0 cm
■ フートプレートから屋根部材（内張下面）までの高さ		：	146.0 cm
■ 座席基準点上方90cmの高さにおけるキャブの内幅		：	92.0 cm
■ ステアリングホイールの中心高さにおける座席基準点上方のキャブの内幅		：	107.5 cm
■ 戸口の幅	（上部）	：	70.0 cm
	（中部）	：	75.5 cm
	（下部）	：	33.5 cm
■ 戸口の高さ	（フートプレートから）	：	133.5 cm
■ 最低位ステップの高さ		：	51.0 cm
■ キャブ装着時のトラクターの全高	（キャブ上端まで）	：	257.5 cm
■ キャブの全幅		：	133.5 cm
■ 座席基準点上方90cmの高さにおける座席基準点からキャブ後部までの水平距離		：	21.0 cm

※1．クボタ MZ75-HPC（タイヤサイズ：前輪 320/60-26 4PR 履帯 450W×50L×90P）に装着時。
2．トラクターシートの銘柄型式：グラマー製，DS85H/90
3．ステアリングホイールのチルトは中央位置。

４．主要材料

■ 主フレーム	： STKM 11 A, STKM 13 A, STKR 400, STK 400, STKMR, SS 400, SPHC, SPCC
■ 装着ブラケット	： STK 400, SS 400
■ 組立・装着ボルト	： S 45 C, S 43 C

Ⅲ　検査成績

１．強度試験

１）水平負荷試験は，キャブの後部左側，側部右側に対して実施。

■ 基準質量	： 3250 kg
■ 所要吸収エネルギー	： 後部負荷　4.55 kJ {464 kgf·m}
	： 側部負荷　5.69 kJ {580 kgf·m}
■ 圧壊力	： 65.00 kN {6628 kgf}

２）試験後のキャブの永久変位

■ 後部（前方へ）	： 右側	2.5 cm	左側	9.5 cm	
■ 前部（前方へ）	： 右側	2.5 cm	左側	9.5 cm	
■ 側部（左側方へ）	： 前側	11.0 cm	後側	14.5 cm	
■ 上部（下方へ）	： 前部 右側	1.5 cm	左側	2.0 cm	
	： 後部 右側	0.5 cm	左側	1.5 cm	

３）側部負荷試験時のキャブの最大変位と残留変位との差　：　9.5 cm

２．騒　　音　※

■ 81.0 dB(A)　[クボタ MZ75-HPC]

※ 7.5km/hに近い速度段で，けん引負荷をかけた時のキャブ内騒音（運転者の耳もと）

Ⅳ　付　記

強度試験はコードⅠにより実施した。

農用トラクター（乗用型）用安全キャブ及び安全フレーム検査成績表

平成19年度
農業・食品産業技術総合研究機構



型式名：クボタ　ＩＣ９５ＭＺ

合格番号：２０７０１８

種　　類：安全キャブ

依頼者名：株式会社　クボタ
住　　所：大阪府大阪市浪速区敷津東１丁目２番４７号

Ⅰ　装着可能トラクター

１．型式名

クボタ SMZ95-HPC　クボタ SMZ95　クボタ SMZ85-HPC　クボタ SMZ85
クボタ SMZ76-HPC　クボタ SMZ76

２．主要諸元（最大トラクター）

■ 型式名		：	クボタ SMZ95-HPC
■ 種類		：	半装軌式
■ 質量（キャブ付き）	kg	：	3515
■ 軸距	mm	：	2250
■ 機関出力／回転速度	kW{PS}/rpm	：	69.9{95}/2600

Ⅱ　構造の概要

１．構造及び装着法

供試キャブは，鋼管及び鋼板を主材とした溶接による一体構造であり，防振ゴム・取付金具を介してクラッチハウジング部及び後車軸ケース部にボルトで装着。

ウインドスクリーン，ドア（両側），側窓，後窓を装備。

２．主な装備

シートベルト（２点式），換気・暖冷房装置，電動ワイパー（前・後）

３．主要寸法　※

■ 座席基準点から屋根部材（内張下面）までの高さ		：	109.0 cm
■ フートプレートから屋根部材（内張下面）までの高さ		：	147.0 cm
■ 座席基準点上方90cmの高さにおけるキャブの内幅		：	91.0 cm
■ ステアリングホイールの中心高さにおける座席基準点上方のキャブの内幅		：	107.0 cm
■ 戸口の幅	（上部）	：	69.5 cm
	（中部）	：	76.0 cm
	（下部）	：	33.0 cm
■ 戸口の高さ	（フートプレートから）	：	134.5 cm
■ 最低位ステップの高さ		：	52.0 cm
■ キャブ装着時のトラクターの全高	（キャブ上端まで）	：	257.0 cm
■ キャブの全幅		：	133.5 cm
■ 座席基準点上方90cmの高さにおける座席基準点からキャブ後部までの水平距離		：	21.0 cm

※１．クボタ SMZ95-HPC（タイヤサイズ　：前輪 320/60-26 4PR 後輪 450W×50L×90P）に装着時。
２．トラクターシートの銘柄型式　：グラマー，DS85H/90
３．ステアリングホイールのチルトは中央位置に調節。

４．主要材料

■ 主フレーム　：STKM 13 A STKM 11 A，STKR 400，STK 400，STKMR，SS 400，SPHC，SPCC
■ 装着ブラケット　：SS 400
■ 組立・装着ボルト　：S 45 C

Ⅲ　検査成績

１．強度試験

１）水平負荷試験は，キャブの後部左側，側部右側に対して実施。

■ 基準質量	：	3700 kg
■ 所要吸収エネルギー	：	後部負荷　5.18 kJ {528 kgf･m}
	：	側部負荷　6.48 kJ {661 kgf･m}
■ 圧壊力	：	74.00 kN {7546 kgf}

２）試験後のキャブの永久変位

■ 後部（前方へ）	：	右側	3.0 cm	左側	10.5 cm
■ 前部（前方へ）	：	右側	3.0 cm	左側	10.5 cm
■ 側部（左側方へ）	：	前側	14.5 cm	後側	15.5 cm
■ 上部（下方へ）	：	前部　右側	3.5 cm	左側	2.5 cm
	：	後部　右側	1.0 cm	左側	2.0 cm

３）側部負荷試験時のキャブの最大変位と残留変位との差　：　9.5 cm

２．騒音　※

■ 80.0 dB(A)　[クボタ SMZ95-HPC]

※ 7.5km/h に近い速度段で，けん引負荷をかけた時のキャブ内騒音（運転者の耳もと）

Ⅳ　付記

本キャブは任意鑑定受験機（平18任鑑22号，コードⅠ）であり，強度試験については，任意鑑定の試験成績を転用した。